1603 V683

据付説明書（販売店・工事店用）

HITACHI
Inspire the Next

日立レンジ用フードファン（原寸大型紙）

HS-90BQ$_8$-M形

取り付け前の調査と準備

- 取り付け面の強度確認 …… 製品を支える強さが必要です。（製品質量 25.5kg）

製品の重さを支持できる丈夫なところに取り付けてください。

■板張りの場合
- 板厚が20㎜以上の場合は直接板に取り付けてください。
- 板厚が20㎜以下の場合は壁に補強板を埋め込み補強板にレンジ用フードファンを取り付けてください。

■コンクリート、タイル壁の場合
- あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

■土壁の場合
- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでおいてください。

- 別売部品の準備

排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。

■安全上のご注意

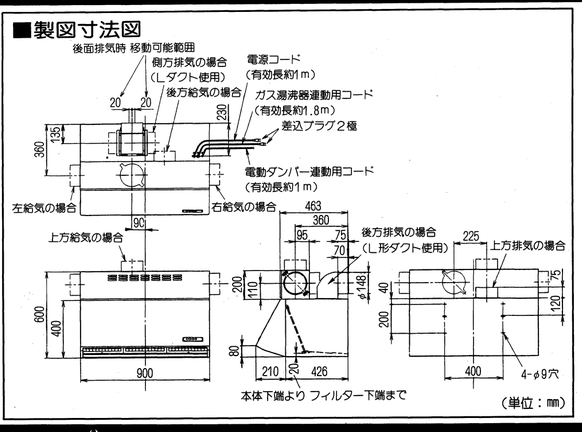
⚠ 警 告

- 交流100Ⅴ以外では使用しない
  - ●火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100Ⅴ専用コンセントを使用する
  - ●火災・感電の原因になります。
- アースを確実に取り付ける
  - ●故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付ける
  - ●漏電した場合、発火することがあります。

⚠ 注 意

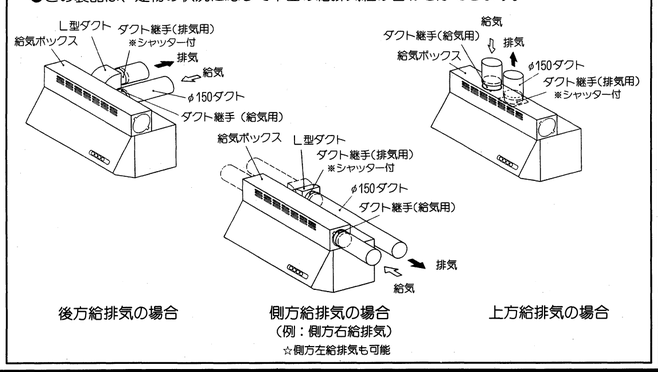
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わない（浴室用換気扇をお使いください）
  - ●感電及び故障の原因になります。
- 本体の取り付け工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う
  - ●落下により、けがをすることがあります。
- 天井には取り付けない
  - ●落下により、けがをする恐れがあります。
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
  - ●誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。

■製図寸法図

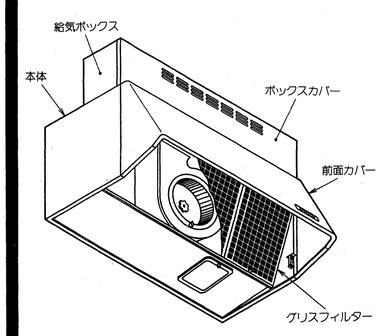


■強制排気－自然給気の組み合わせ（強制排気のみでも使用可能です。）

●この製品は、建物の状況に応じて下図の給排気組み合わせができます。



■各部名称



取り付け時のご注意（排気工事をされる場合建築基準法（同施工法）および消防法等の関連法規に合わせ施工ください。）

1. レンジ用フードファンの取り付けは、建物の金属部（壁内ラス網等）と接触しないように、十分注意して工事してください。なお、本体の壁への埋め込みは、絶対にやめてください。
2. 製品はガステーブルの真上に取り付けてください。なお、この製品の標準取付高さは、80cmに設定してあります。（図1）
3. ガステーブルの幅は90cm以内のものをご使用ください。
4. 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますのでご使用しないでください。
5. レンジ用フードファン下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また、横方向50cm以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。（図2）
6. 建物が密閉されている場合は必ず空気取入口を設けてください。（図3）
7. 部屋の中央で料理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。（図3）
8. スイッチ改造等仕様を変更してのご使用は絶対におやめください。
9. 電源は専用コンセントを設けてください。

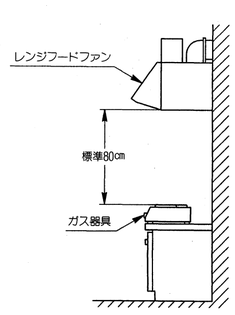


図1

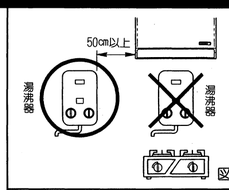


図2

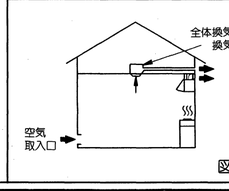
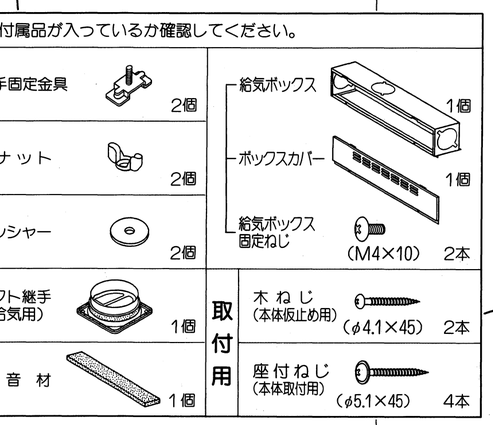
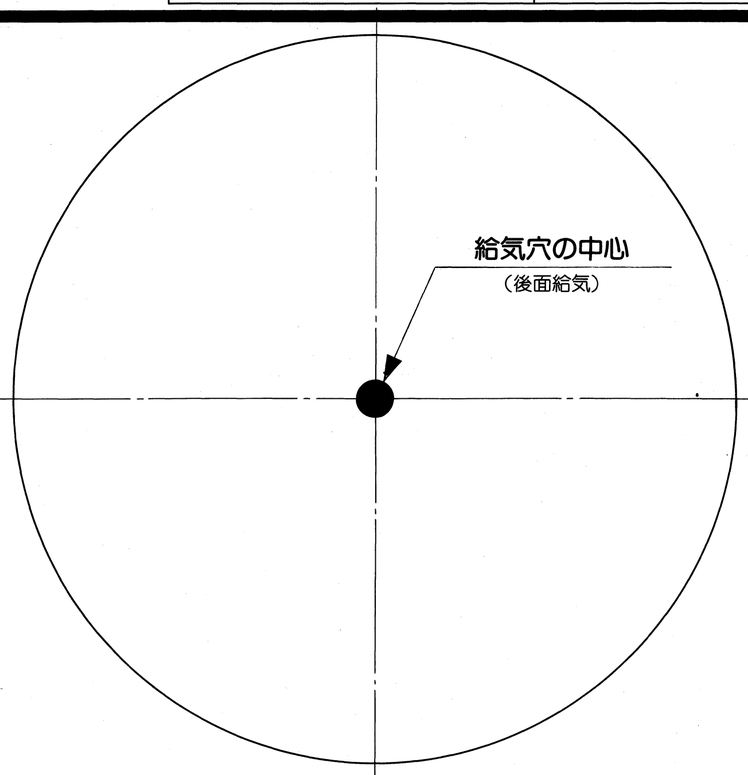


図3





製品の中心

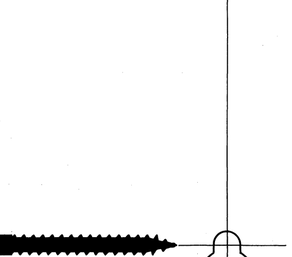
90　135

付属品 …… 取り付けを始める前に下記付属品が入っているか確認してください。

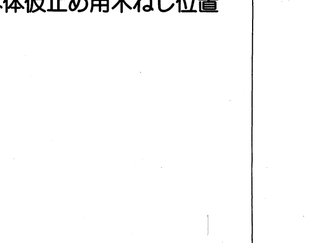
排気用	ダクト継手（排気用）	1個	給気用	継手固定金具	2個
	ソフトテープ	1個		蝶ナット	2個
	L形ダクト	1個		ワッシャー	2個
	ダクト固定板	1個		ダクト継手（給気用）	1個
	L形ダクトと排気口の固定用ねじ	（M4×8） 4本		吸音材	1個
				給気ボックス	1個
				ボックスカバー	1個
				給気ボックス固定ねじ	（M4×10） 2本
			取付用	木ねじ（本体仮止め用）	（φ4.1×45） 2本
				座付ねじ（本体取付用）	（φ5.1×45） 4本

取り付けの応用例

○レンジフードファンの標準取付寸法例



○風雨が直接あたる所では別売品ウエザーカバーなどを取り付けてください。



取 り 付 け の 方 法

1．本体の準備

（1）コネクターを外します。
①のツメを押しながら、②の方向へ引き抜きます。（図4）

（2）前面カバーを外します。
固定金具を上にスライドさせ、前面カバーを手前に引いて外します。（図5）

（3）グリスフィルターを外します。
フィルターツマミを持って上にあげ、手前に引きます。

（4）付属品のダクト継手（排気用、給気用）、給気ボックスを準備します。
輸送用パッキン部に同梱のダクト継手、給気ボックスを取り出してください。

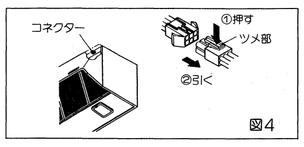


図4

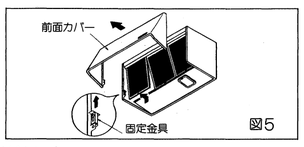


図5

2．排気方向の決定およびダクト（φ150）のセット

（1）製品寸法図を参照し、給排気方向を決めてください。
（2）φ150のスパイラルダクト、又はステンレスダクトを準備してください。
（3）給排気ダクトを下図の位置に応じてセットし、周囲を仕上げてください。（図6）

ご注意

排気ダクトと給気ダクトのセット寸法間隔は、225㎜ですので、屋外に取り付けるウエザーカバーなどの幅は、225㎜以下のものをお勧めします。
なお、セット寸法間隔と同一幅のウエザーカバーなどをご使用の場合には、あらかじめウエザーカバーなどを取り付け、セット寸法間隔を確認してください。

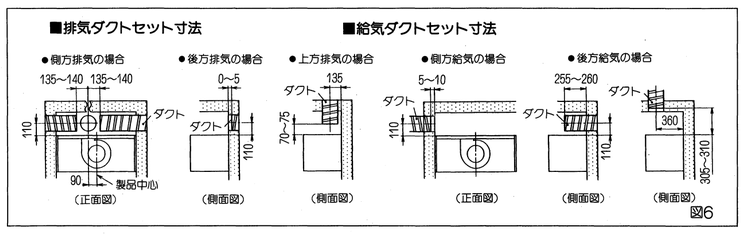


図6

3．給排気用部品の準備

■給気用部品の準備

（1）給気ボックスからボックスカバーを外します。
（2）使用する給気穴を小型のハンマーで強く打ちます。（図7）

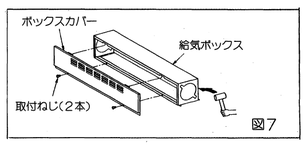


図7

■排気用部品の準備

（1）上方排気の場合
・L型ダクトは不要です。
・本体のダクト継手（排気用）取付部にあらかじめ止めてある取付ねじ（2本）を取外してください。
・ダクト継手（排気用）に付属品のソフトテープを貼り直接本体に取り付けます。
ダクト継手（排気用）は本体上面の差込部に差し込み、上項で外した取付ねじ（M4×8）2本で取り付けてください。（図8）

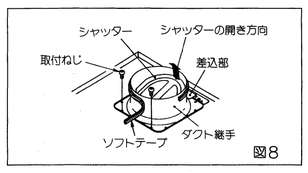


図8

（2）側方および後方排気の場合
（L型ダクトを使用する場合）
・ダクト継手（排気用）に付属品のソフトテープを貼り、L型ダクトに取り付けます。
ダクト継手（排気用）は、付属の取付ねじ（（M4×8）4本で取り付けてください。（図9）

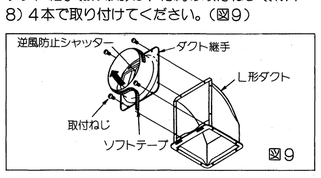


図9

※後方排気のみ
L型ダクトにダクト固定板を挿入します。
L型ダクトの長穴とダクト固定板の長穴部を合わせ、L型ダクト固定板の凸部を挿入してください。（図10）

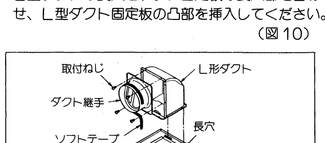


図10

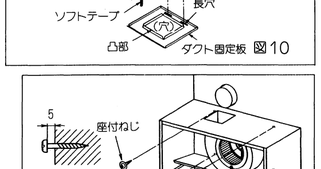


図11

4．本体の取付

（1）本体仮止め用木ねじをねじ込んでください。
本体仮止め位置（左右各1カ所）に、木ねじ（4.1×45）を壁面との隙間約5㎜まで締め付けてください。

（2）本体仮止め用木ねじに本体を引掛けた後、本体取付用座付ねじ（5.1×45）で本体取付位置4カ所をしっかり締め付けてください。（図11）

ご注意

上方排気の場合は、ダクトにダクト継手を差し込みながら本体を取付けてください。

（3）本体仮止め用木ねじ（左右各1カ所）をしっかり締め付けてください。

5．ダクトと排気用部品の接続

ご注意

テクスねじなどでダクト継手（排気用）を固定する場合はシャッターにねじが当たらないよう テクスねじ使用範囲 内に固定してください。（図12）

■上方排気の場合

風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）を行ってください。（図13）

■側方および後方排気の場合

ご注意

・側方排気の場合には、ダクト固定板は不要です。
・後方排気の場合はダクト固定板で左右方向の微調整を行ってください。（図14）

（1）L型ダクトを本体上面の差込部に差し込みながら、ダクト継手（排気用）をダクトに挿入し取付ねじ2本で取り付けてください。
（取付ねじは、あらかじめ本体のL型ダクト取付部に止めてありますので外してご使用ください）

（2）風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）を行ってください。

6．給気ボックスの取り付け

（1）給気ボックスの後部端面を、本体上面の挟持部に差し込みます。（図15）

（2）給気ボックスを、給気ボックス固定用ねじ（2本）で本体に固定します。（図16）

（3）給気ボックス内より、吸音材を貼り付けます。吸音材の台紙をはがし、給気ボックス内底面に貼り付けます。

（4）給気ボックス内より、ダクトとダクト継手（給気用）の接続を行います。
・給気穴の溝部に継手固定金具を押し込み、ツメ部と当て部で鋼板を挟みセットします。（図17）
・ダクト継手（給気用）をダクトに挿入した後、付属のワッシャーと蝶ナットで固定してください。

（5）ボックスカバーをボックスカバー固定用ねじ（2本）で給気ボックスに取り付けます。（図18）

7．組み立て

組み立ては、1.本体の準備の項と逆の順序で組み立てます。

8．配線工事

■ガス湯沸器と連動運転する場合
・このレンジ用フードファンは、市販の換気扇連動スイッチを使用してガス湯沸器と連動運転することができます。

ご注意

・ガス湯沸器は、換気扇連動形とそうでない場合により、換気扇連動スイッチは異なります。（図19）
・工事については、ガス供給業者（ガス会社）にご相談ください。また、配線は電気設備技術基準・内線規定に従ってください。

■電動ダンパーと連動する場合
・このレンジ用フードファンは、運転中、AC100Vを出力できる電動ダンパー連動用コードが設けてあります。（図20）
電動ダンパーと連動する場合は、電気設備技術基準・内線規定に従って電動ダンパーと接続してください。

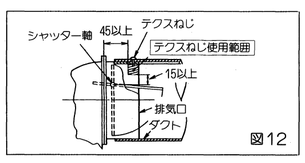


図12

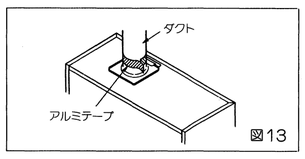


図13

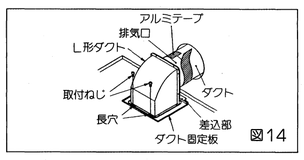


図14

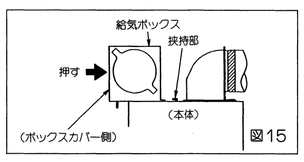


図15

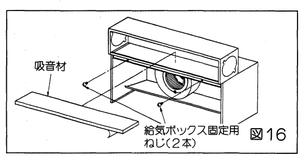


図16

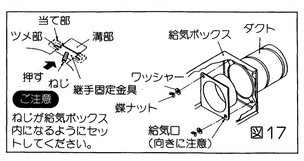


図17

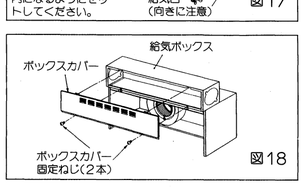


図18

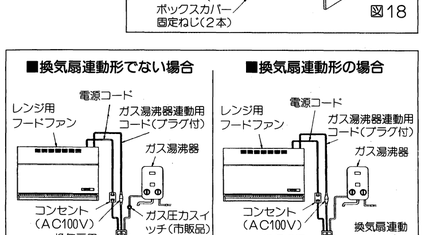


図19

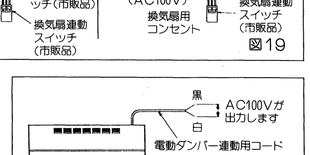


図20

9．試運転

（1）スイッチのボタンを押し、弱 強 運転および ランプ の点灯状態を確認してください。

（2）次に、ガス湯沸器との連動運転を確認してください。
・スイッチを切にして、ガス湯沸器を使用すると「強」で運転し、ガス湯沸器を止めると、レンジ用フードファンも停止するか確認してください。
・スイッチを弱にして運転し、ガス湯沸器を使用すると「強」に切り換わり、ガス湯沸器を止めると元の「弱」にて運転するかを確認してください。

（3）上記の運転中は電動ダンパーのダンパーが開放し、停止中は電動ダンパーのダンパーが閉じるか確認してください。

注意：この型紙は湿気の影響で2～3㎜誤差が生ずることがあります。寸法をお確かめの上ご使用ください。

取扱説明書・据付説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

株式会社 日立産機システム
〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地AKSビル
電話(03)4345-6000(代)

日立ライティング株式会社
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2
電話(03)3255-5255